

お茶とコーヒーの科学

内容

仕事や日常でほっと一息つくとき、お供のお茶やコーヒーの水面を見てください。アツアツのお茶やコーヒーの表面に白い湯気の膜が見えるでしょうか。その湯気の膜は踊ったり、突然割れたり消えたりします。古い記録では戦前の物理学者、寺田寅彦が随筆にその現象に対する興味を書き記しています。ほぼ100年ぶりとなる今、現代の技術で真面目に観察すると面白い物理現象が見えてきました。この湯気のトピックスをはじめ、お茶やコーヒーの液滴が乾燥するときに残す輪染みを産業応用に活かす話題など、お茶やコーヒーという身近な日常生活から飛び出てくる科学を解説します。